



## 届けます！30分でわかる乳がんのお話

～乳がん体験者と区が協働して出張講座を開催～

と き	10月(13・14・19・29日)	と ころ	区立泉新小学校、区立石神井小学校 他2カ所
-----	-------------------	------	-----------------------

区は、乳がん月間にあたる10月に、乳がん検診を促す講座を4回開催し、合計99人が参加した。乳がんにかかる人は、30歳代後半から急増するが、この年代は子育てや仕事が忙しく、なかなか検診へ足が向かないことが多い。そこで、小学校等を会場として講座を開催し、乳がん検診と自己触診の必要性を呼びかけた。対象は小学校PTAなどの保護者。乳がん体験者である西貝圭子さんが「乳がんは命に関わる病気。子どものことならすぐに病院に行くのと同じように、自分の体にも気をつけてもらい、検診の案内が来たら受診をしてほしい。」と話すと、多くの参加者が頷いていた。

この講座は「練馬区協働事業提案制度」の一つで、区と乳がん体験者グループ「あけぼの - NERiMA - 」が協働して事業を行い、今年度は既に16カ所で実施、計27カ所で開催を予定している。

### 【出張講座の内容(30分)】

- ・DVD鑑賞(専門医が伝える「乳がん検診から治療まで」)
- ・乳がん体験談(乳がん体験者グループ「あけぼの - NERiMA - 」)
- ・区の乳がん検診案内と乳がん触診モデルを使った自己触診の体験



の出張講座の様子

### 【10月の出張講座 日時・場所】

- 13日(火)午前11時～正午(ココネリ3F:練馬1-17-1) 35人参加  
 14日(水)午前10時～11時30分(区立泉新小学校:三原台3-18-30) 30人参加  
 19日(月)午前11時～正午(区立石神井小学校:石神井台1-1-25) 23人参加  
 29日(木)午前11時～正午(すまいる高野台《子育てひろば》:高野台3-12-9-1F) 11人参加

### 【練馬区の乳がんの状況】

練馬区の乳がんの年齢調整死亡率(75歳未満)は、10万対13.3人(平成25年度)と、国(10.7人)や都(11.3人)と比較して高い割合である。一方、練馬区の乳がん検診受診率は21.2%(平成26年度)と低く、5人に4人が検診を受けていない状況である。

年齢調整死亡率...都道府県別に、死亡数を人口で除した死亡率。当該年の人口動態統計死亡数を当該年の国勢調査人口で除した年齢階級別粗死亡率及び基準人口(昭和60年の国勢調査人口を基に補正した人口)を用いて算出される。

### 【あけぼの - NERiMA - とは】

乳がん患者会「あけぼの会」(全国組織:昭和23年発足)のうち、練馬区在住メンバーが中心のグループ。乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝える活動を行っている。平成19年から区の講演会に協力していることをきっかけに、練馬区の乳がん検診受診を促すため、平成24年に会を発足。

### 【練馬区協働事業提案制度とは】

地域の様々な課題に対して、町会・自治会やNPO・ボランティア団体などから、課題の解決に向けた企画提案をいただき、提案団体と練馬区が協力して課題の解決に取り組む仕組み。審査委員会が審査し、採択された事業は、協定を締結したうえで、事業を実施する。

### 【問い合わせ】

「乳がんの出張講座」について...北保健相談所 管理係 電話:03-3931-1347

「協働事業提案制度」について...地域振興課 地域コミュニティ支援係 電話:03-5984-1039